

一般質問



期待される関屋橋広場の整備

子育て支援・高齢者福祉・教育問題について

子育て支援・

高齢者福祉について

質問 妊婦無料健診の拡大について3月の議会を取り上げたがその後の経過は。15歳までの医療費無料化を進めるべきと考えるが。

答弁 県下統一案について今後各市町村の意向調査を実施するが、これを踏まえ

安力川 信之 議員

て対応したい。子供の医療費無料化の拡大について、県では段階的に進めたいとしており、今後県との協議を通じて検討したい。

質問 敬老祝金について支給対象者を拡大すべきと考えるがどうか。

答弁 現在の基準は、合併の経緯の中で決まったものの

ですが、高齢者数の増加も一層進むことから、事業の定着状況を見ながら研究します。

教育問題について

質問 理不尽な親の苦情対策はどのようになっているか。スクールバスの地域格差をなくすべきと考えるがどうか。

答弁 親の真意を理解することに努め、担当・管理職で誠実に対応したい。場合によっては関係相談機関との連携を図ることも必要で

です。スクールバスについては、検討委員会を設置し、検討していきます。

質問 三原田小学校栄分校や渋川第二幼稚園などの児童園児数の問題はどのような対応をするのか。

答弁 栄分校では、社会性の育成等の理由で本校への通学を希望する場合があります。その都度協議して対応しています。渋川第二幼稚園については来年度の園児募集は行わず、在園児が卒園するまで運営していきます。

追加振替し約20億円に減縮し、他工事は第2期へ繰越。

伊香保温泉再生事業の進行に伴う諸問題

中澤 広行 議員

質問 温泉の湯量確保に新配管を敷設にあたり、温泉事業協同組合との調整は。

答弁 2回の事業者説明会を実施。今後も組合と協議のうえ細部調整を図ります。

質問 新源泉では、小間口権者組合と調整が必要だが。

答弁 集湯施設の活用と共に、利用調整を図ります。

質問 湯量確保の抜本的解決には、西沢源泉付近での新源泉の探求が必要だが。

答弁 観光客増加に伴う水道水源を確保するため、他利用の考えはありません。

質問 80項目、事業費28億円の事業だが、現在の事業項目数と全体事業費は。

答弁 事業工期等を精査、

答弁 市道の拡幅と広場を整備し温泉情緒を提供する。

質問 県所有の観山荘の払い下げを引き続き陳情する考えを市長に聞く。

答弁 旧伊香保町の古くからの払い下げ陳情を認識しており、対応していきます。

質問 道路整備は周辺整備と一体化が必要だ。景観を保つ舗装の方法、地元住民

の意見、防災道路の完成は。

答弁 住民の意見をいただき石畳との調和ある舗装を検討。防災道路は12月25日が工期となっています。

質問 旧よろずやさんの建物買収の進捗状況は。

答弁 所有者の了解をいただき、事務を進めています。

質問 再生事業の延長と渋滞緩和のためバイパス建設、市営駐車場整備の考えは。

答弁 第2期交付金申請の中で、内容評価と関連性が必要であり調整検討したい。



渋川第二幼稚園

災害訓練には武器はいらない

質問 8月23日、有馬「茂沢防災ダム」で陸上自衛隊12偵察隊が小銃を携行して訓練をした。行幸田団地自治会に第12偵察隊長名で訓練実施の回覧がされたが、シビリアンコントロールの見地からしてもおかしいのではないか。

答弁 今回の渡河訓練は災害派遣を想定した技術の習得であり、使用を許可し、また関係自治会への周知を指導しました。

加藤 幸子 議員

では自衛隊に申し入れた。
質問 今後、市長は市民の憩いの場所・住宅地周辺での自衛隊の訓練を許可しですか。

答弁 戦闘を目的とした訓練であれば許可しない方針です。

学校や保育所、幼稚園、学童保育所に駐車場の完備を

質問 駐車場でのトラブルに悩む保育所等の保護者から駐車場の完備を望む声がある。特に古巻地区の学校、保育所・学童保育所の駐車

場については早急な改善を。
答弁 小学校近隣の土地借用を進めたいと考えています。また、園児の安全を第一に駐車場用地の借り上げについて、調査検討中です。

質問 子供の医療費を15歳まで無料にすること。同時に大澤知事に選挙公約を守るように提言されたい。

答弁 知事は、子供の医療費無料化の拡大は財源問題もあり段階的に進めたいと言っている。今後県との協議を通じて検討していく。



自衛隊の渡河訓練

正規・非正規雇用問題について

角田 喜和 議員

質問 市の非正規職員は、福祉や教育、医療など様々な分野で正規職員と同じに頑張っている。

「今やなくてはならない存在」ですが、処遇は「今時あつてはならない」ほどに不安定な状況に置かれている。「格差と貧困の拡大」などが社会問題となつてい

るもとで、非正規労働者の雇用の安定と労働条件の改善など率先して行うべきと考えるが。

答弁 行財政改革において職員を削減することが課題です。多くの臨時職員に働いていただいています。職務は正規職員と全く同じでなく労働の条件、内容に

よって待遇を替えています。
地域生活支援事業の
施策はどうなっているか

質問 小規模福祉作業所などでは、利用者の収入を上げるために仕事の確保に汗している。委託できる庁内の軽微な仕事も精査すれば数多く出てくると思います。が考えは。

答弁 福祉作業所等のPRや利用者支援のために、戦没者追悼式や市民献血の記念品に福祉作業所の製品を利用しています。また、袋

詰めなど軽微な作業について、委託ができるか研究したいと考えています。

介護保険制度の

市独自施策は

質問 介護サービスを補完する意味から、市独自の施策が必要ですが対応は。

答弁 介護サービスだけではなく、地域福祉の観点から民生委員活動やサロン活動、老人会活動等への支援を通じ、地域で高齢者全体を支え見守る体制を構築していきたいと考えています。



福祉作業所の作業風景

一般質問



地域医療の拠点 渋川総合病院

渋川市総合計画（素案）を見て一言

南雲 鋭一 議員

質問 渋川市総合計画は何のために策定するのか。

答弁 地方自治法に基づきまちづくりの指針として、総合的、体系的な計画が必要なことから、総合計画を策定するものです。

質問 財政見通しは、合併特例値を入れた各年度のもう少し詳細な数値の発表を。

答弁 財政見通しは今後10

年間の大きな財政の規模とし、5年ごとの数値表示としていきたいと考えます。

質問 基本計画に10年間の指標設定がない。総合計画は10年後の姿を示すもの。

答弁 指標は社会情勢の影響が少なく前期5年間の目標とし、後期については改めて見直しを行う予定です。

渋川総合病院について

丸山 正三 議員

質問 産婦人科の医師確保は全国的にも大変難しいと言われている中で、今回採用した産婦人科医を選んだ理由は。

答弁 今回採用した医師は渋川市出身であり、「郷土の医療に貢献したい。」との意向から、採用に至ったものです。

質問 今後の産婦人科の診療計画及び見通しは。

答弁 複数の産婦人科医を確保できれば産科を開設したいが、厳しい状況です。

質問 渋川総合病院では、国民健康保険の管理をしているのか。

答弁 国民健康保険の管理は、市民部で行っています。

まちづくりで各地区の内容補強を。また、地域審議会の設置期限経過後のあり方についての考え方は。

答弁 地区の特性を活かしたまちづくりを進めます。

質問 総合計画（素案）は今後決定までにどのような変化があるのか。

答弁 地区別、分野別懇談会や市民意見公募の結果を踏まえ、素案の一部修正を行っていきます。

質問 医業収益約8億3600万円に対し、医業費用がその1・7倍となっている。この医業費用の高さをどのように考えているのか。

答弁 常勤医師の不足による医業収益の低下が原因であり、常勤医師を確保して、収益の向上を図りたい。

質問 副市長は渋川市内の事業所や関係機関を巡り、市民の要望、意見等を伺ったとのことであるが、今後の病院経営にどのように反映されていくのか。

答弁 総合病院は地域の中枢病院として開設をした。今後、市民の病院として、運営していく考えである。



特色ある地域づくり
（北橋地区の竹工藝）